

輸出事業計画

※申請者名：株式会社松原米穀契約生産者組合,品目：コメ

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- ・国内のコメ需要が減少する中、新たな販路拡大を目的にR3年産から本格的に米の輸出に取り組んでいる。
- ・輸出用米の生産においては、直播品種や多収品種を委託生産することで価格競争力を得ることにより、他産地との差別化を図っている。

【課題】

<生産段階>

- ・輸出用米として取り扱う多収量米や直播品種の産地への認知度の拡大。

<加工段階>

- ・安心・安全な商品のPRや他産地との差別化を図り、需要開拓を行っていくためには、精米加工施設のFSSC22000の認証取得が必要。

<販売段階>

- ・既に多くの日本産米が輸出されている中、輸出先国との連携を強化することによる新たな販路を拡大する必要。

2. 輸出事業計画の取組内容

<生産段階>

- ・新品種による取組を全道の生産者へPRし、ALL北海道で輸出拡大に向けて取り組む。
- ・輸入先国のパートナーと連携しながら北海道産米の販売強化を行うことで、価格競争力の輸出用米専用品種の生産拡大を図る。

<流通・加工段階>

- ・令和6年度までにFSSC2000を取得し、海外の輸出規制に対応できる施設の整備を目指す。

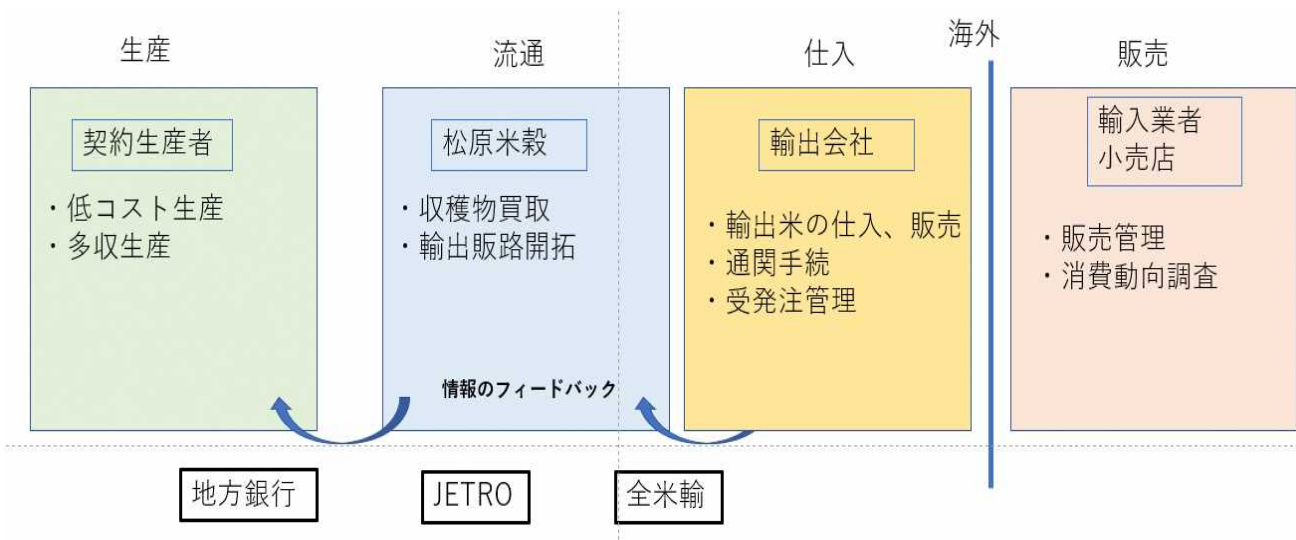
<販売段階>

- ・現地でのマーケティング活動等を積極的に行い、既存の取引先と連携しながら、新たな販路の開拓を目指す。

輸出事業計画

※申請者名：株式会社松原米穀契約生産者組合,品目：コメ

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



4. 輸出目標額

		現状 (令和3年)	目標 (令和7年)
アジア地域	輸出額 (千円)	60,000	180,000
	輸出量 (t)	300	1,000
アジア地域外	輸出額 (千円)	12,500	25,000
	輸出量 (t)	50	100